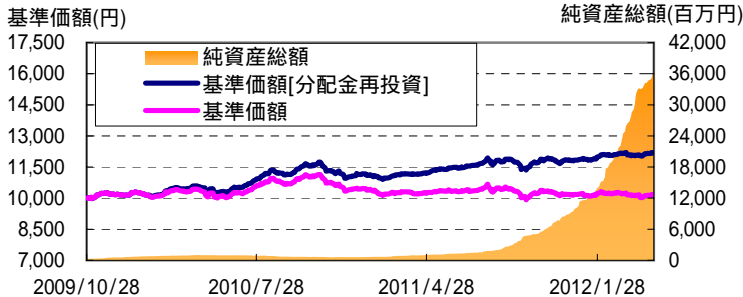


DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ

追加型投信 / 海外 / 債券

円コース

運用実績の推移



(設定日: 2009年10月29日)

基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。

基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額) (決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)

基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	10,170 円
解約価額	10,160 円
純資産総額	35,967 百万円

設定来高値	11,142 円	2010/11/5
設定来安値	9,918 円	2011/10/5

設定来高値・設定来安値は、同一の基準価額が複数ある場合、最も古い日付を表示しています。

ポートフォリオ構成

ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス(JPY)	98.7%
DIAMマネーマザーファンド	0.0%
現金等	1.3%

比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	設定来
当ファンド	1.15%	1.58%	2.77%	8.99%	16.26%	22.04%

1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。

2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

分配金情報(税引前) 直近3年分

第1期 (2010.02.05)	50 円	第10期 (2010.11.05)	60 円	第19期 (2011.08.05)	80 円
第2期 (2010.03.05)	50 円	第11期 (2010.12.06)	60 円	第20期 (2011.09.05)	80 円
第3期 (2010.04.05)	50 円	第12期 (2011.01.05)	80 円	第21期 (2011.10.05)	80 円
第4期 (2010.05.06)	50 円	第13期 (2011.02.07)	80 円	第22期 (2011.11.07)	80 円
第5期 (2010.06.07)	50 円	第14期 (2011.03.07)	80 円	第23期 (2011.12.05)	80 円
第6期 (2010.07.05)	60 円	第15期 (2011.04.05)	80 円	第24期 (2012.01.05)	80 円
第7期 (2010.08.05)	60 円	第16期 (2011.05.06)	80 円	第25期 (2012.02.06)	80 円
第8期 (2010.09.06)	60 円	第17期 (2011.06.06)	80 円	第26期 (2012.03.05)	80 円
第9期 (2010.10.05)	60 円	第18期 (2011.07.05)	80 円	第27期 (2012.04.05)	80 円
					累計分配金 1,890 円

1 分配金は1万口当たり。

2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

基準価額変動の要因分析(概算値)(前月末比)


	(単位:円)
キャピタル	87
インカム	35
為替ヘッジプレミアム / コスト	-3
為替	0
その他	10
信託報酬	-13
分配金	-80
合計	36

1 左記の要因分析は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーから提供されたデータを基にDIAMが作成したものです。組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その完全性、正確性を保証するものではありません。傾向を知るための目安としてご覧ください。

2 為替ヘッジプレミアム/コストは対米ドルの直物為替レートおよび先渡為替レートを基に簡便的に算出しているため、実績値とは差異があります。

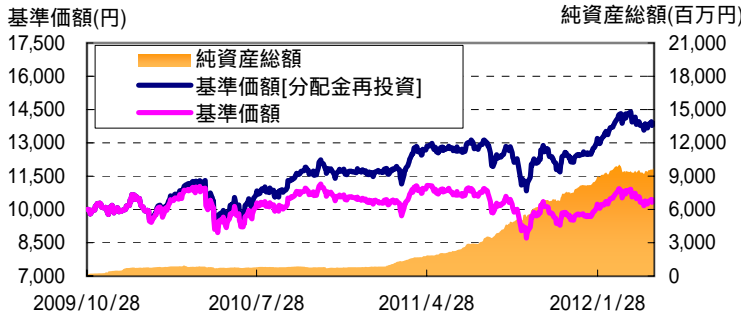
当資料は12枚ものです。なお、別紙1~3も併せてご確認ください。
P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント 

豪ドルコース

運用実績の推移



(設定日:2009年10月29日)
 基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。
 基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額) (決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	10,389 円
解約価額	10,379 円
純資産総額	9,703 百万円

設定来高値	11,147 円	2010/11/8
設定来安値	8,709 円	2011/10/5

設定来高値・設定来安値は、同一の基準価額が複数ある場合、最も古い日付を表示しています。

ポートフォリオ構成

ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス(AUD)	98.3%
DIAMマネーマザーファンド	0.0%
現金等	1.7%

比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	設定来
当ファンド	0.27%	6.99%	9.30%	7.83%	24.06%	38.67%

- 1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。
- 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

分配金情報(税引前) 直近3年分

第1期 (2010.02.05)	80 円	第10期 (2010.11.05)	110 円	第19期 (2011.08.05)	120 円
第2期 (2010.03.05)	80 円	第11期 (2010.12.06)	110 円	第20期 (2011.09.05)	120 円
第3期 (2010.04.05)	80 円	第12期 (2011.01.05)	120 円	第21期 (2011.10.05)	120 円
第4期 (2010.05.06)	80 円	第13期 (2011.02.07)	120 円	第22期 (2011.11.07)	120 円
第5期 (2010.06.07)	80 円	第14期 (2011.03.07)	120 円	第23期 (2011.12.05)	120 円
第6期 (2010.07.05)	110 円	第15期 (2011.04.05)	120 円	第24期 (2012.01.05)	120 円
第7期 (2010.08.05)	110 円	第16期 (2011.05.06)	120 円	第25期 (2012.02.06)	120 円
第8期 (2010.09.06)	110 円	第17期 (2011.06.06)	120 円	第26期 (2012.03.05)	120 円
第9期 (2010.10.05)	110 円	第18期 (2011.07.05)	120 円	第27期 (2012.04.05)	120 円
					累計分配金 2,980 円

- 1 分配金は1万口当たり。
- 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

基準価額変動の要因分析(概算値)(前月末比)

	(単位:円)
キャピタル	89
インカム	36
為替ヘッジプレミアム / コスト	36
為替	-132
その他	12
信託報酬	-13
分配金	-120
合計	-92

- 1 左記の要因分析は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーから提供されたデータを基にDIAMが作成したものです。組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与える影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その完全性、正確性を保証するものではありません。傾向を知るための目安としてご覧ください。
- 2 為替ヘッジプレミアム/コストは対米ドルの直物為替レートおよび先渡為替レートを基に簡便的に算出しているため、実績値とは差異があります。
- 3 為替は直物為替レートの1ヵ月間の騰落率を基に簡便的に算出しているため、実績値とは差異があります。

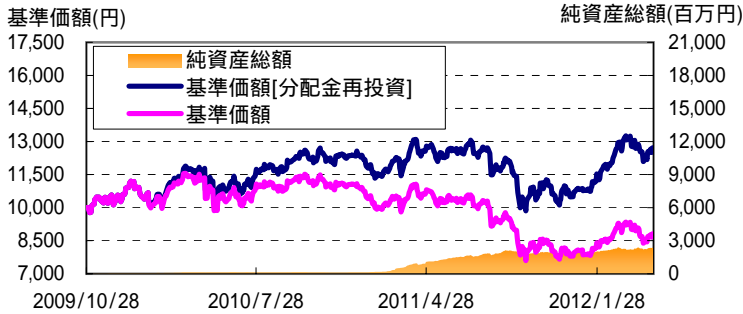
当資料は12枚ものです。なお、別紙1~3も併せてご確認ください。
 P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント

南アフリカランドコース

運用実績の推移



(設定日: 2009年10月29日)
 基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。
 基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額) (決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	8,731 円	
解約価額	8,722 円	
純資産総額	2,352 百万円	
設定来高値	11,561 円	2010/4/5
設定来安値	7,593 円	2011/10/5

設定来高値・設定来安値は、同一の基準価額が複数ある場合、最も古い日付を表示しています。

ポートフォリオ構成

ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス(ZAR)	97.8%
DIAMマネーマザーファンド	0.0%
現金等	2.2%

比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	設定来
当ファンド	-0.75%	11.85%	13.76%	-1.56%	8.89%	25.93%

- 1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。
- 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

分配金情報(税引前) 直近3年分

第1期 (2010.02.05)	100 円	第10期 (2010.11.05)	120 円	第19期 (2011.08.05)	150 円
第2期 (2010.03.05)	100 円	第11期 (2010.12.06)	120 円	第20期 (2011.09.05)	150 円
第3期 (2010.04.05)	100 円	第12期 (2011.01.05)	150 円	第21期 (2011.10.05)	150 円
第4期 (2010.05.06)	100 円	第13期 (2011.02.07)	150 円	第22期 (2011.11.07)	150 円
第5期 (2010.06.07)	100 円	第14期 (2011.03.07)	150 円	第23期 (2011.12.05)	150 円
第6期 (2010.07.05)	120 円	第15期 (2011.04.05)	150 円	第24期 (2012.01.05)	150 円
第7期 (2010.08.05)	120 円	第16期 (2011.05.06)	150 円	第25期 (2012.02.06)	150 円
第8期 (2010.09.06)	120 円	第17期 (2011.06.06)	150 円	第26期 (2012.03.05)	150 円
第9期 (2010.10.05)	120 円	第18期 (2011.07.05)	150 円	第27期 (2012.04.05)	150 円
累計分配金 3,620 円					

- 1 分配金は1万口当たり。
- 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

基準価額変動の要因分析(概算値)(前月末比)


(単位:円)

キャピタル	76
インカム	30
為替ヘッジプレミアム / コスト	39
為替	-200
その他	-2
信託報酬	-11
分配金	-150
合計	-217

- 1 左記の要因分析は、ウエストン・アセット・マネジメント・カンパニーから提供されたデータを基にDIAMが作成したものです。組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その完全性、正確性を保証するものではありません。傾向を知るための目安としてご覧ください。
- 2 為替ヘッジプレミアム/コストは対米ドルの直物為替レートおよび先渡為替レートを基に簡便的に算出しているため、実績値とは差異があります。
- 3 為替は直物為替レートの1ヵ月間の騰落率を基に簡便的に算出しているため、実績値とは差異があります。

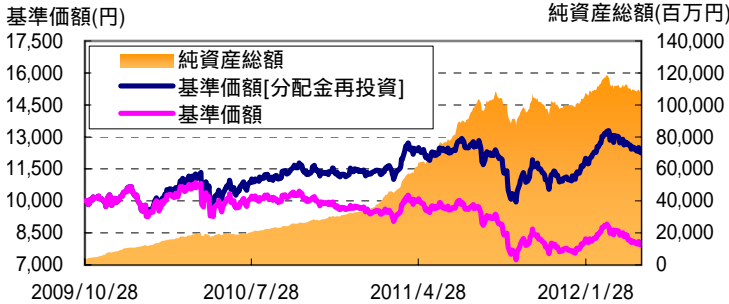
当資料は12枚ものです。なお、別紙1~3も併せてご確認ください。
 P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント 

ブラジルリアルコース

運用実績の推移



(設定日:2009年10月29日)
基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。
基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額) (決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)
基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	7,935 円	
解約価額	7,927 円	
純資産総額	108,115 百万円	
設定来高値	10,860 円	2010/4/27
設定来安値	7,238 円	2011/10/5

設定来高値・設定来安値は、同一の基準価額が複数ある場合、最も古い日付を表示しています。

ポートフォリオ構成

ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス(BRL)	97.4%
DIAMマネーマザーファンド	0.0%
現金等	2.5%

比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	設定来
当ファンド	-2.88%	4.43%	5.68%	-1.99%	10.33%	22.55%

- 1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。
- 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

分配金情報(税引前) 直近3年分

第1期 (2010.02.05)	120 円	第10期 (2010.11.05)	150 円	第19期 (2011.08.05)	160 円	
第2期 (2010.03.05)	120 円	第11期 (2010.12.06)	150 円	第20期 (2011.09.05)	160 円	
第3期 (2010.04.05)	120 円	第12期 (2011.01.05)	150 円	第21期 (2011.10.05)	160 円	
第4期 (2010.05.06)	120 円	第13期 (2011.02.07)	160 円	第22期 (2011.11.07)	160 円	
第5期 (2010.06.07)	120 円	第14期 (2011.03.07)	160 円	第23期 (2011.12.05)	160 円	
第6期 (2010.07.05)	150 円	第15期 (2011.04.05)	160 円	第24期 (2012.01.05)	160 円	
第7期 (2010.08.05)	150 円	第16期 (2011.05.06)	160 円	第25期 (2012.02.06)	160 円	
第8期 (2010.09.06)	150 円	第17期 (2011.06.06)	160 円	第26期 (2012.03.05)	160 円	
第9期 (2010.10.05)	150 円	第18期 (2011.07.05)	160 円	第27期 (2012.04.05)	160 円	累計分配金 4,050 円

- 1 分配金は1万口当たり。
- 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

基準価額変動の要因分析(概算値)(前月末比)


(単位:円)

キャピタル	70
インカム	28
為替ヘッジプレミアム / コスト	50
為替	-372
その他	-1
信託報酬	-10
分配金	-160
合計	-394

- 1 上記の要因分析は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーから提供されたデータを基にDIAMが作成したものです。組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その完全性、正確性を保証するものではありません。傾向を知るための目安としてご覧ください。
- 2 為替ヘッジプレミアム/コストは米ドル1ヵ月LIBORおよびNDFインプライド金利を基に簡便的に算出しているため、実績値とは差異があります。
- 3 為替は直物為替レートの1ヵ月間の騰落率を基に簡便的に算出しているため、実績値とは差異があります。

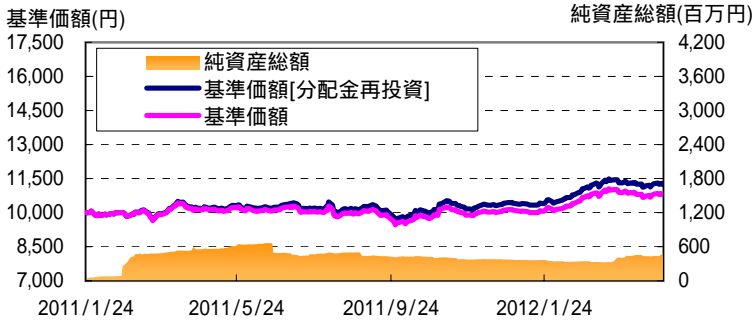
当資料は12枚ものです。なお、別紙1~3も併せてご確認ください。
P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント 

中国元コース

運用実績の推移



(設定日:2011年1月25日)
基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。
基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額) (決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)
基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	10,785 円	
解約価額	10,774 円	
純資産総額	456 百万円	
設定来高値	11,053 円	2012/3/15
設定来安値	9,467 円	2011/9/27

設定来高値・設定来安値は、同一の基準価額が複数ある場合、最も古い日付を表示しています。

ポートフォリオ構成

ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス(CNY)	99.2%
DIAMマネーマザーファンド	0.0%
現金等	0.7%

比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
当ファンド	-0.35%	7.90%	11.02%	9.49%	12.38%

- 1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。
- 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

分配金情報(税引前) 直近3年分

第1期 (2011.02.07)	0 円	第10期 (2011.11.07)	30 円
第2期 (2011.03.07)	30 円	第11期 (2011.12.05)	30 円
第3期 (2011.04.05)	30 円	第12期 (2012.01.05)	30 円
第4期 (2011.05.06)	30 円	第13期 (2012.02.06)	30 円
第5期 (2011.06.06)	30 円	第14期 (2012.03.05)	30 円
第6期 (2011.07.05)	30 円	第15期 (2012.04.05)	30 円
第7期 (2011.08.05)	30 円	累計分配金	420 円
第8期 (2011.09.05)	30 円		
第9期 (2011.10.05)	30 円		

- 1 分配金は1万口当たり。
- 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

基準価額変動の要因分析(概算値)(前月末比)

(単位:円)

キャピタル	93
インカム	37
為替ヘッジプレミアム / コスト	9
為替	-184
その他	20
信託報酬	-13
分配金	-30
合計	-68

- 1 左記の要因分析は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーから提供されたデータを基にDIAMが作成したものです。組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その完全性、正確性を保証するものではありません。傾向を知るための目安としてご覧ください。
- 2 為替ヘッジプレミアム/コストは米ドル1ヵ月LIBORおよびNDFインプライド金利を基に簡便的に算出しているため、実績値とは差異があります。
- 3 為替は直物為替レートの1ヵ月間の騰落率を基に簡便的に算出しているため、実績値とは差異があります。

当資料は12枚ものです。なお、別紙1~3も併せてご確認ください。
P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント

ケイマン エマージング ソブリン ファンド の状況

ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーの月末データをもとに作成しています。

ベンチマークはJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(米ドルベース・為替ヘッジなし)です。

格付については、海外格付機関(S&PおよびMoody's)による下位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略し、S&Pの表示方法にあわせて表記しています。

ポートフォリオの状況

	ファンド	ベンチマーク
直接利回り	5.8%	-
最終利回り	4.9%	5.3%
修正デュレーション(年)	8.0	7.9
残存年数(年)	12.4	13.1
銘柄数	65	133
組入国数	13	17

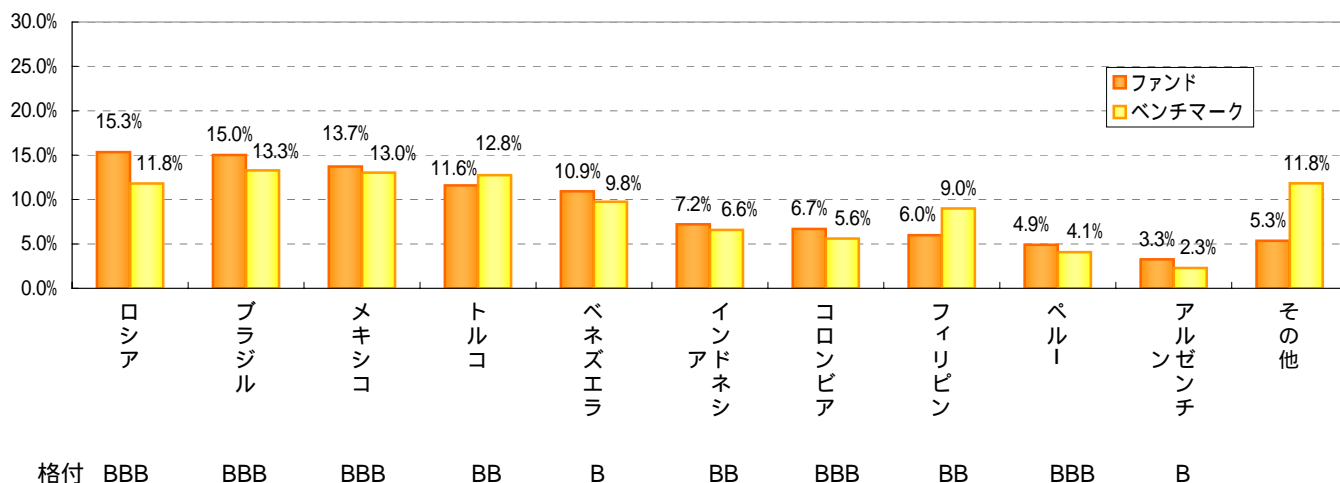
上記のファンドの各データは組入債券評価額をもとに計算しています。

格付別構成比

	ファンド	ベンチマーク
A以上	3.8%	2.7%
BBB	57.2%	59.5%
BB	24.8%	23.8%
B	14.2%	14.0%
CCC以下	0.0%	0.0%
平均格付	BBB	BB

ファンドの比率は組入債券評価額に対する割合です。
ファンドの平均格付については、組入れた債券の格付を加重平均したものであり、当ファンドの信用格付ではありません。
格付は個別銘柄格付を採用しています。
CCC以下には格付を取得していないものを含みます。

国別組入比率および格付



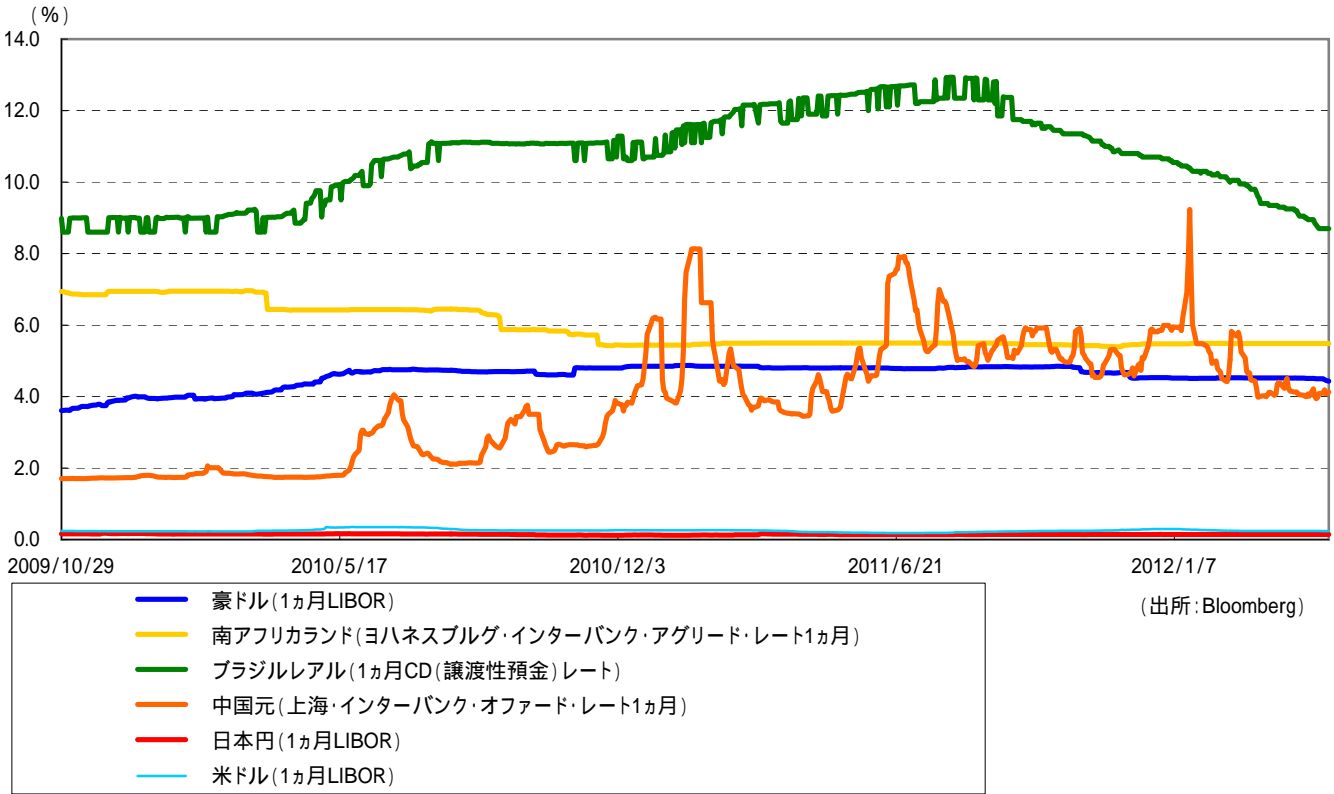
ファンドの比率は組入債券評価額に対する割合です。
組入上位10ヵ国以外の国については、その他として集計しています。
格付は国の発行体格付(外貨建て長期債格付)を採用しています。

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	クーポン	償還日	格付	組入比率
1	ロシア国債	7.500%	2030/3/31	BBB	12.4%
2	ベネズエラ国債	7.750%	2019/10/13	B	5.0%
3	トルコ国債	5.625%	2021/3/30	BB	4.1%
4	メキシコ国債	6.050%	2040/1/11	BBB	4.0%
5	フィリピン国債	5.500%	2026/3/30	BB	3.8%
6	ブラジル国債	4.875%	2021/1/22	BBB	3.6%
7	ベネズエラ国債	5.750%	2016/2/26	B	3.2%
8	ブラジル国債	5.625%	2041/1/7	BBB	3.0%
9	コロンビア国債	4.375%	2021/7/12	BBB	2.7%
10	トルコ国債	7.500%	2017/7/14	BB	2.7%

組入比率は組入債券評価額に対する割合です。
格付は個別銘柄格付を採用しています。

短期金利の推移 (2009/10/29 ~)



為替ヘッジプレミアム/コスト(年率)

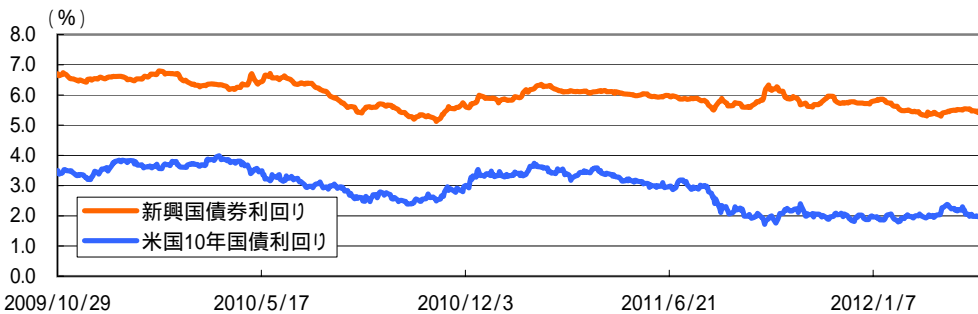
(単位: %)

	円	豪ドル	南アフリカランド	ブラジルレアル	中国元
為替ヘッジプレミアム/コスト	-0.31	4.22	5.52	7.61	0.98
(参考) 短期金利差	-0.09	4.19	5.25	8.46	3.89

1 為替ヘッジプレミアム/コストは、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーのデータを基に作成しています。円、豪ドル、南アフリカランドについては、対米ドルの直物為替レートおよび先渡為替レートの月間平均値を基に算出、ブラジルレアル、中国元については米ドル1ヵ月LIBORおよびNDFインプライド金利の月間平均値を基に算出したものです。

2 短期金利差は、基準日の米ドルと各コース通貨との金利差を表示したものです。(出所: Bloomberg)

新興国債券利回り・米国10年国債利回りの推移 (2009/10/29 ~)




新興国債券利回りはJPモルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスの最終利回りです。

JPモルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ.P.モルガン・チェース・アンド・カンパニーに帰属します。

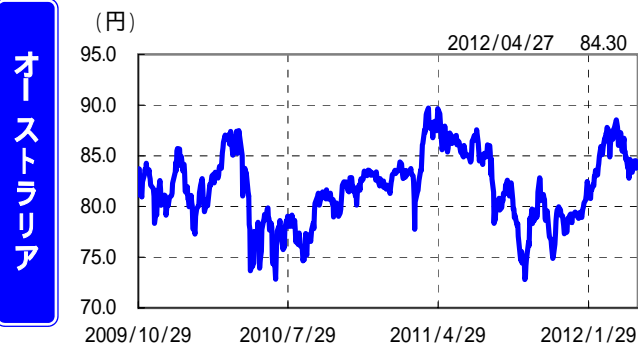
当資料は12枚ものです。なお、別紙1~3も併せてご確認ください。
P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

設定・運用は

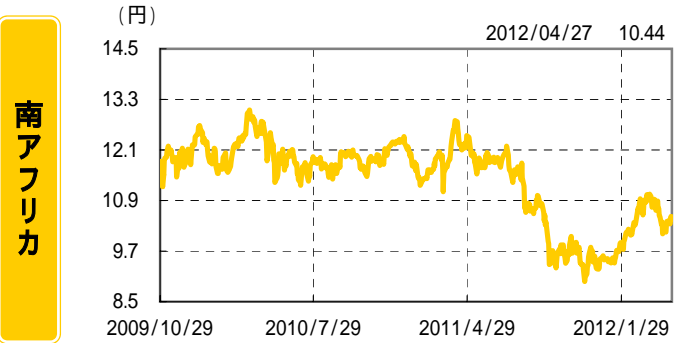
DIAMアセットマネジメント 

各国の為替の推移

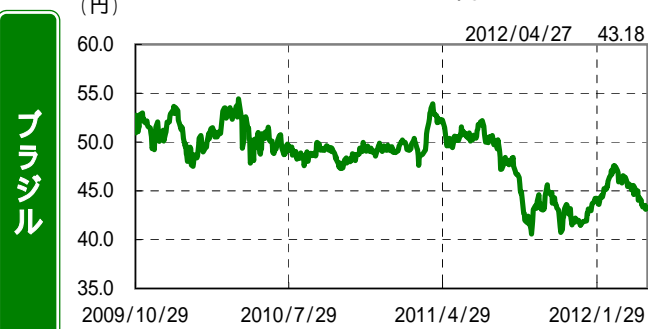
<豪ドル/円>



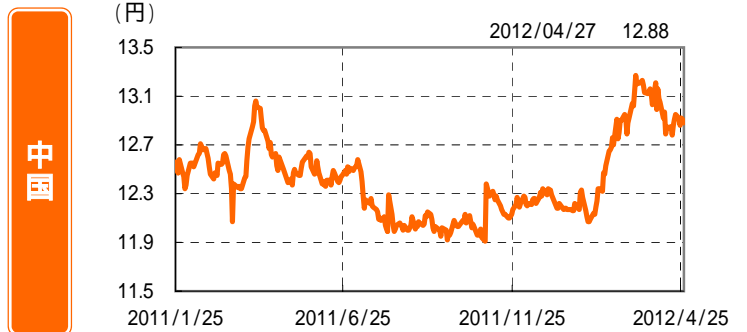
<南アフリカランド/円>



<ブラジルレアル/円>



<中国元/円>



1 各ファンドの設定日からの推移を掲載しています。(中国元：2011年1月25日、その他の通貨：2009年10月29日)
2 為替レートはTTM(東京外国為替市場の対顧客電信仲値)を使用しています。

マーケットの動向とファンドの運用状況

〔4月の市場動向〕

4月の新興国債券スプレッド(先進国債券と新興国債券との利回り格差)は拡大しました。中国など世界経済の先行き懸念や、欧州の政治情勢の不透明感などが市場の重しとなり、投資家のリスク回避が進行しました。

米国では予想を下回る雇用統計や欧州の債務問題に伴うリスク回避の動きから利回りは低下しました。

為替市場においては、米ドル/円相場は米ドル安円高となりました。米国の雇用統計が市場予想を下回り、米景気の先行きに慎重な見方が広がったことなどから、米ドル売り円買いが優勢となりました。

豪ドル/円相場は、豪ドル安円高となりました。RBA(オーストラリア準備銀行)が追加利下げの可能性を示唆したことや、オーストラリアの貿易収支が予想に反して赤字となったことなどから、豪ドル売り円買いが優勢となりました。

南アフリカランド/円相場は、ランド安円高となりました。スペイン国債の入札不調をきっかけに欧州債務問題に対する懸念が再燃し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、ランドは対円で下落しました。

ブラジルレアル/円相場は、レアル安円高となりました。ブラジル中央銀行が利下げを決定するとともに、追加利下げの可能性を示唆したことなどから、レアルは対円で下落基調となりました。

中国人民元/円相場は、人民元安円高となりました。人民元は米ドルに対しては小幅に上昇しましたが、対米ドルで円高が進んだことから、円に対しては下落しました。

〔パフォーマンスとその要因〕

4月、円コースの基準価額は、新興国債券スプレッドは拡大したものの、米国金利の低下幅がそれを上回ったことから、前月末比で1.15%上昇しました。豪ドルコースの基準価額は、対円で豪ドルが下落したものの、米国金利が低下したことなどから0.27%上昇しました。南アフリカランドコースの基準価額は、南アフリカランドが対円で下落したことから、0.75%下落しました。ブラジルレアルコースの基準価額は、ブラジルレアルが対円で下落したことから、2.88%下落しました。中国元コースの基準価額は、中国元が対円で下落したことから、0.35%下落しました。

今後のマーケットの見通しとファンドの運用方針

ギリシャ総選挙に伴う政局の混乱やスペインの財政悪化懸念など欧州の債務問題の再燃から、投資家のリスク許容度は後退しています。また、世界景気の先行き不透明感もあり、新興国の中央銀行は、景気や金融市場、インフレ動向とのバランスを見ながら、中立的もしくはやや緩和的な金融政策のスタンスを維持しています。


短期的には金融市場は不安定な展開になると見られ、新興国の中央銀行は金融・為替政策に関して慎重な姿勢を維持すると予想されます。一方、資源価格の上昇などインフレ圧力が高まる中で、経済成長とインフレ率とのバランスの取れた金融政策が重要となり、インフレを助長することなく経済成長を後押しするという難しい舵取りが求められます。

こうした状況下、ブラジルとロシアをオーバーウェイトとしています。また、中南米地域ではアルゼンチンとベネズエラについて、魅力的なバリュエーションと財務状態を考慮し、小幅なオーバーウェイトとしています。アジア地域では、天然資源の主要輸出国であるマレーシアに投資妙味があると見ています。フィリピンについては、アンダーウェイトを維持しています。中東欧地域では、トルコをアンダーウェイトとし、引き続きポーランドに投資妙味があると見ています。また、南アフリカ、ウクライナ、クロアチアについてはアンダーウェイトとしています。

上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

当資料は12枚ものです。なお、別紙1～3も併せてご確認ください。
P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント 
ダイヤム

商品の特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

『DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ』は、以下5本のファンドで構成される投資信託です。

<円コース>、<豪ドルコース>、<南アフリカランドコース>、<ブラジルリアルコース>、<中国元コース>

主として米ドル建ての新興国のソブリン債(国債および政府機関債等())に投資し、高水準の利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的とします。

・各ファンドは外国投資信託(ケイマン エマージング ソブリン ファンド)への投資を通じて、米ドル建ての新興国のソブリン債(国債および政府機関債等)に実質的な投資を行います。

・外国投資信託の運用はウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーが行います。

() 各国政府および政府関係機関が発行するソブリン債、または政府が出資している企業や政府保証が付いた債券である準ソブリン債を含みます。

為替変動リスクの異なる5コースの中から選択でき、その後のスイッチングも可能です。

毎月決算を行い、原則として利子配当等収益等を中心に安定分配をめざします。

・毎月5日(休業日の場合は翌営業日。)の決算時には、原則として利子配当等収益等を中心に安定分配をめざします。

・毎年1月および7月の決算時には、安定分配に加えて委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合もあります。

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

主なリスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、下記の主な変動要因により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

為替リスク..... 各ファンド(<円コース>を除く)

各ファンドの主要投資対象である外国投資信託では原則として、投資資産の発行通貨(米ドル)を売り予約し、各ファンドの通貨(以下、「コース通貨」といいます。)を買い予約する為替取引を行います。しかし、米ドルの為替変動の影響を完全に排除できるものではありません。くわえてコース通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。この場合、コース通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。また、いずれのファンドにおいてもコース通貨の金利が米ドルの金利より低い場合、その金利差相当分のコストがかかることにご留意ください。

<円コース>

<円コース>の主要投資対象である外国投資信託では原則として、対円での為替ヘッジを行い為替リスクの低減を図りますが、為替リスクを完全に排除できるものではなく、米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。また、円金利が米ドルの金利よりも低い場合、その金利差相当分のコストがかかることにご留意ください。

<ブラジルリアルコース>、<中国元コース>については、為替ヘッジにあたり為替予約取引と類似する直物為替先渡取引(NDF)を利用します(2011年11月現在)。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待、当該国の資本規制や税制等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、ファンドの投資成果は、実際の為替市場や金利市場から想定されるものと大きく乖離する場合があります。

外国為替市場の混乱等により為替予約取引やNDF取引が行えなくなった場合、コース通貨の為替への投資ができなくなる等ファンドの投資方針に沿った運用ができなくなる場合があります。特にNDF取引は為替予約取引に比べ当該国の資本規制や税制等の影響により流動性が乏しくなることから、そのリスクが高くなります。

金利リスク..... 一般的に金利が上昇すると債券の価格は下落します。各ファンドは、実質的に債券に投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。新興国債券に投資する場合、先進国債券に比べ金利リスクが大きくなる傾向があります。

信用リスク..... 実質的に投資する債券や短期金融商品等の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。新興国債券に投資する場合、先進国債券に比べ信用リスクが大きくなる傾向があります。

カントリー..... リスク 各ファンドが実質的に投資を行う通貨や債券の発行者が属する国の経済状況は、先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化などが為替市場や債券市場におよぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制や課徴的な税制、海外への送金規制などの種々な規制の導入や政策の変更等の要因も為替市場や債券市場に著しい影響をおよぼす可能性があります。これにより基準価額が下落し、投資元本を割り込むことがあります。

流動性リスク... 各ファンドは、実質的に市場規模が小さい債券等に投資する場合があります。そのような市場では、資産規模や取引量が少ないために売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかつたり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなる場合があります。基準価額に影響をおよぼす可能性があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

各ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本:1口=1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して6営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	ニューヨーク証券取引所、またはニューヨークの銀行の休業日に該当する日には、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	2019年10月29日までです。(設定日: <円コース> <豪ドルコース> <南アフリカランドコース> <ブラジルリアルコース> 2009年10月29日、<中国元コース> 2011年1月25日)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 各ファンドが主要投資対象とする外国投資信託が存続しないこととなった場合。 各ファンドにおいて受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合。 受益者のために有利であると認めるとき。 やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として毎月5日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年12回、毎決算日に収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 「分配金受取コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日までにお支払いを開始します。 「分配金自動けいぞく投資コース」の場合、税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。
スイッチング	「DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ」を構成する各ファンド間でスイッチングができます。 スイッチングの際には、ご換金時と同様の費用・税金および各販売会社が定める手数料・税金がかかります。 販売会社によってはスイッチングのお取扱いをしない場合がありますのでご注意ください。スイッチングのお取扱い等、くわしくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。
その他	販売会社によっては一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。


お客様にご負担いただく費用について(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額等については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

購入時	
購入時手数料	購入価額に3.15%(税抜3.0%)を上限として 各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 くわしくは販売会社にお問い合わせください。
スイッチング時	
スイッチング手数料	スイッチングによるお申込日の翌営業日の基準価額に3.15%(税抜3.0%)を上限として 各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。くわしくは販売会社までお問い合わせください。
換金時	
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金申込日の翌営業日の基準価額に0.1% を乗じて得た額とします。
保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
運用管理費用(信託報酬)	実質的な運用管理費用(信託報酬): 信託財産の純資産総額に対して年率1.6175%(税抜1.565%)(概算) ・各ファンド: 信託財産の純資産総額に対して年率1.1025%(税抜1.05%) ・投資先外国投資信託: 投資先外国投資信託の純資産総額に対して年率0.515%
その他費用・手数料	組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

当資料は12枚ものです。なお、別紙1~3も併せてご確認ください。
P.12の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント 
ダイヤモンド

投資信託ご購入の注意

投資信託は

預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取扱いについてのご注意

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。

お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。

当資料における内容は作成時点(2012年5月16日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

各ファンドは、実質的に債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

委託会社およびファンドの関係法人
 <委託会社> DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
 加入協会: 社団法人投資信託協会
 / 社団法人日本証券投資顧問業協会
 <受託会社> みずほ信託銀行株式会社
 <販売会社> 販売会社一覧をご覧ください

委託会社の照会先
 DIAMアセットマネジメント株式会社
 コールセンター 0120-506-860
 (受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)
 ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

印は協会への加入を意味します。

2012年5月16日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
株式会社みずほ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第3号					
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号					
楽天銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第609号					
株式会社北海道銀行	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第1号					6
株式会社群馬銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第46号					6
オーストラリア・アンド・ニュージーランド・バンキング・グループ・リミテッド(銀行)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第622号					7
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号					
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号					
日本アジア証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第134号					
極東証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第65号					4
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第8号					
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第114号					6
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号					
東武証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第120号					
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号					5
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号					
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号					
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第170号					
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号					
三木証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第172号					
リテラ・クレア証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第199号					
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号					

その他にもお取扱いを行っている販売会社があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

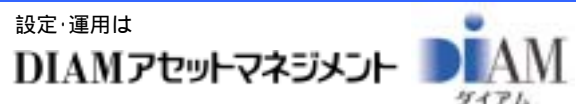
<備考欄について>

- 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。
- 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。
- 南アフリカランドコース、ブラジルリアルコースのみのお取扱いになりますのでご注意ください。
- ブラジルリアルコースのみのお取扱いになりますのでご注意ください。
- 中国元コースの取扱いはありませんのでご注意ください。
- 円コースのみのお取扱いになりますのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

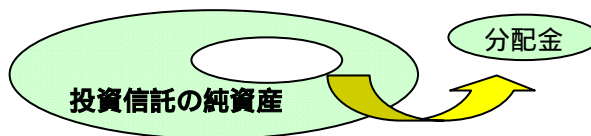
当資料は12枚ものです。なお、別紙1~3も併せてご確認ください。

設定・運用は



投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

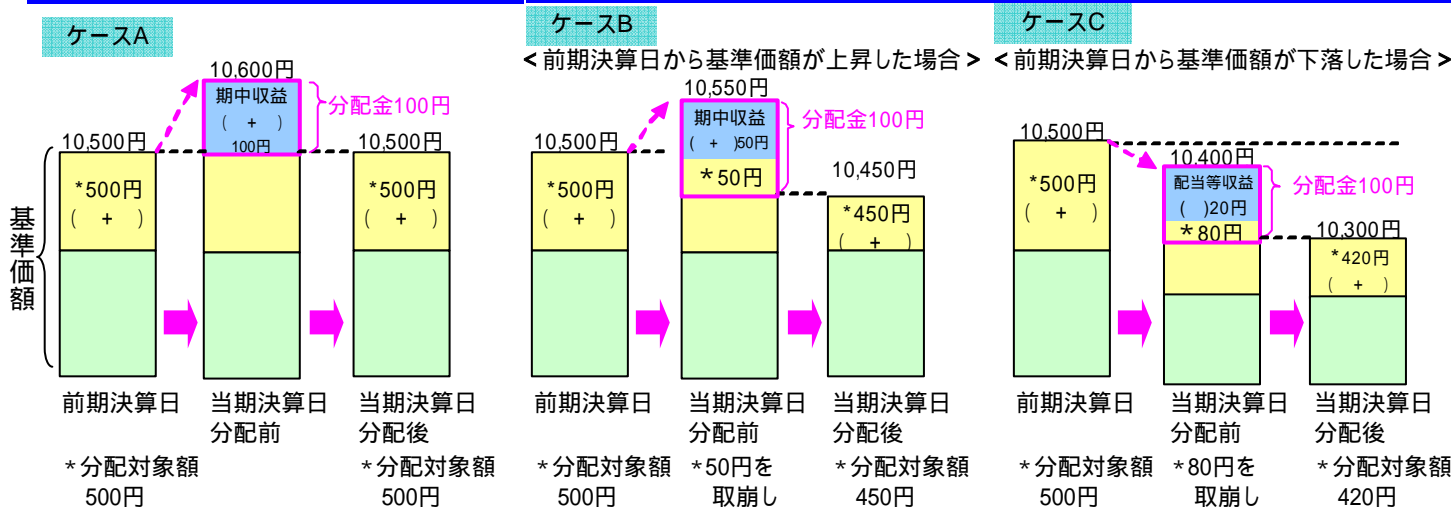
分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

配当等収益(経費控除後)、 有価証券売買益・評価益(経費控除後)、 分配準備積立金、 収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円
 ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 50円 = 50円
 ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 200円 = 100円

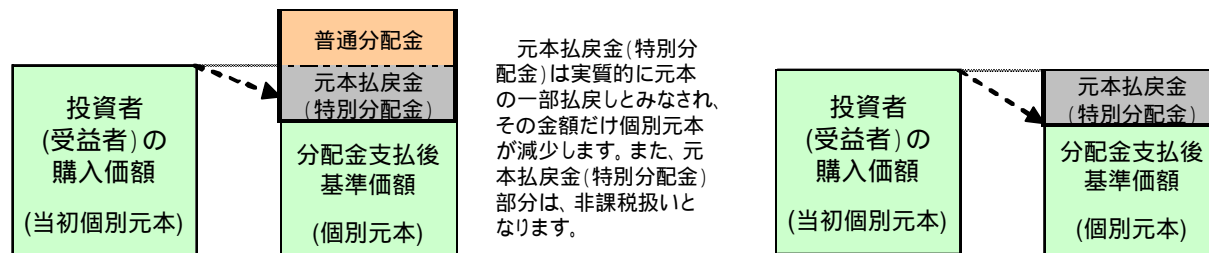
A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

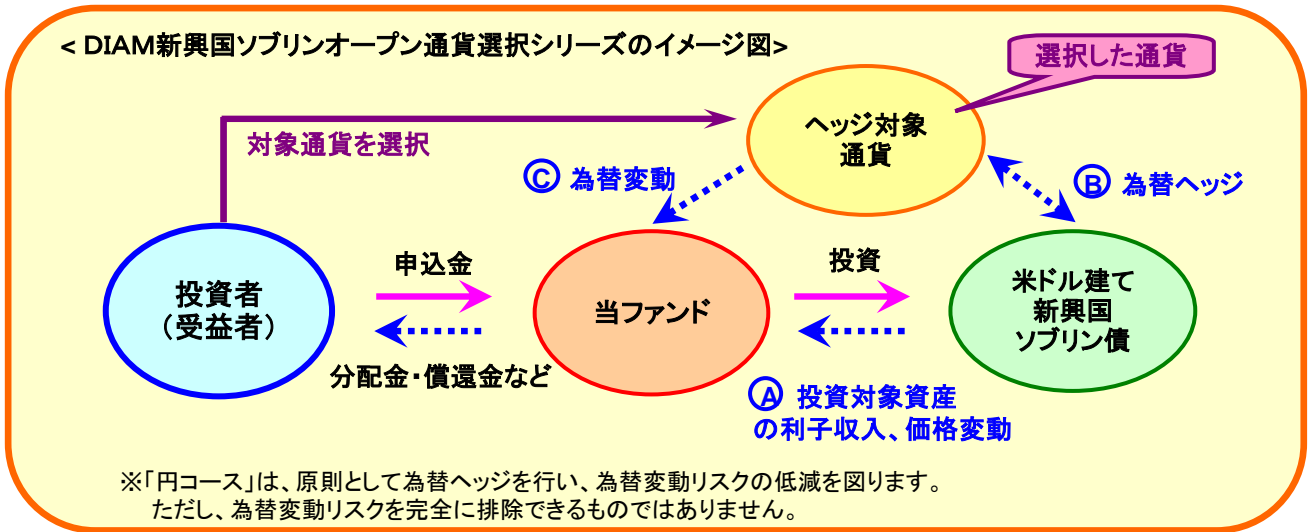
分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。
 (注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目録見書)をご確認ください。

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替ヘッジの対象となる円以外の通貨も選択することができるように設計された投資信託です。



- DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズの収益源としては、以下の3つの要素があげられます。

① 投資対象資産による収益(上図A部分)

- ・ 米ドル建て新興国ソブリン債が値上がりした場合や利子が支払われた場合は、基準価額の上昇要因となります。
- ・ 逆に、米ドル建て新興国ソブリン債が値下がりした場合には、基準価額の下落要因となります。

② 為替ヘッジプレミアムによる収益(上図B部分)

- ・ 「選択した通貨」の短期金利が、「米ドル建て新興国ソブリン債の通貨」(米ドル)の短期金利よりも高い場合は、その金利差による「為替ヘッジプレミアム」が期待できます。
- ・ 逆に、「選択した通貨」の短期金利のほうが高い場合には、「為替ヘッジコスト」が生じます。

※「選択した通貨」が新興国通貨の場合などは、金利差がそのまま反映されない場合があります。

③ 為替変動による収益(上図C部分)

- ・ 上図B部分とは異なり、上図C部分については為替ヘッジを行っていないため、「選択した通貨」(円を除く。以下同じ)の円に対する為替変動の影響を受けることとなります。
- ・ 「選択した通貨」の対円レートが上昇(円安)した場合は、為替差益を得ることができます。
- ・ 逆に、「選択した通貨」の対円レートが下落(円高)した場合は、為替差損が発生します。

- これまで説明しました内容についてまとめますと、以下のようになります。

収益の源泉	=	米ドル建て新興国ソブリン債の 利子収入、値上がり/値下がり	+	為替ヘッジプレミアム /コスト	+	為替差益/為替差損
収益を得られる ケース		金利の低下 等 債券価格の上昇		ヘッジ対象通貨の短期金利 > 米ドルの短期金利 ヘッジプレミアムの発生		円に対してヘッジ対象通貨高 (円安) 為替差益の発生
損失やコストが 発生する ケース		債券価格の下落 金利の上昇 発行体の信用状況の悪化 等		ヘッジコストの発生 ヘッジ対象通貨の短期金利 < 米ドルの短期金利		為替差損の発生 円に対してヘッジ対象通貨安 (円高)

※「円コース」は、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※ 市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

為替予約取引とNDF取引

為替ヘッジは、主に「為替予約取引」を用います。

しかし、一部の新興国通貨では…
(中国元、ブラジルレアル、インドルピー、
インドネシアルピアなど)
「為替予約取引」ができません。

そこで

NDF取引を活用

【理由】

為替市場が未成熟であったり、当局が国外での自国通貨の流通を制限しているなどの理由で、本国以外で多額の当該通貨の保有、調達、決済などが難しいためです。

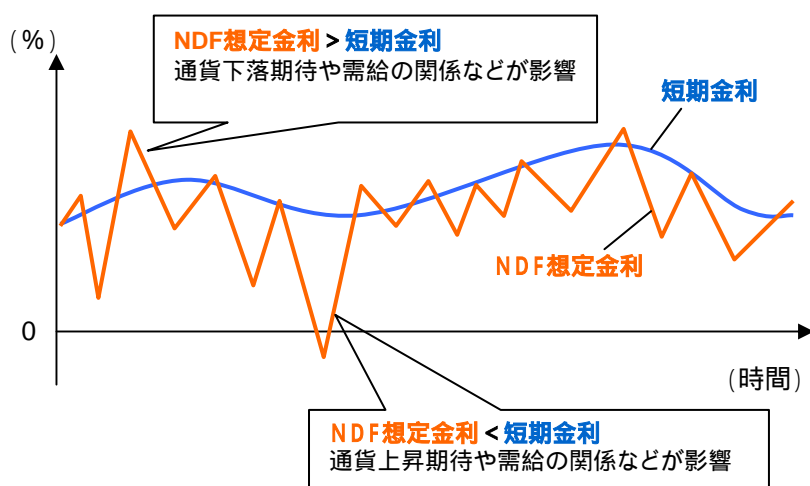
NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引とは

直物為替先渡取引の一種です。主に金融機関との相対取引で、当該通貨の受渡しが発生せず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済を行います。

通常の為替予約取引と比べ、取引参加者が少ないことや、当局による金融・資本市場における制約などから、金利裁定(割高や割安を是正する市場のメカニズム)が働きにくいだけでなく、取引参加者の為替見通しを反映した需給の影響をより強く受けることがあります。

そのため、**NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離**する場合があります。

< NDF想定金利と短期金利が乖離する例(イメージ) >



NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)は、通貨に対する需給や通貨の上昇期待が反映され、マイナスになる程低くなる場合もあります。その場合、為替ヘッジプレミアムの減少や為替ヘッジコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

左記は、イメージであり、すべての事象があてはまるとは限りません。また、将来の水準を予測、または示唆するものではありません。

外国為替市場の混乱等によりNDFが利用できなくなった場合には、選択した通貨への投資ができなくなるなどファンドの運用方針に沿った運用ができなくなるリスクもあります。同様のことが通常の為替予約取引についてもいえますが、特にNDFは為替予約取引に比べて流動性が乏しくなることがあるため、そのリスクが高くなります。

上記の要因以外でも、投資対象資産の通貨の短期金利が上昇した場合は、為替ヘッジプレミアムが減少したり、為替ヘッジコストが生じる可能性があります。

上記は、NDF取引や為替市場に関する説明の一部であり、NDF取引および為替市場についてすべてを網羅したものではありません。
(出所：各種情報に基づきDIAM作成)